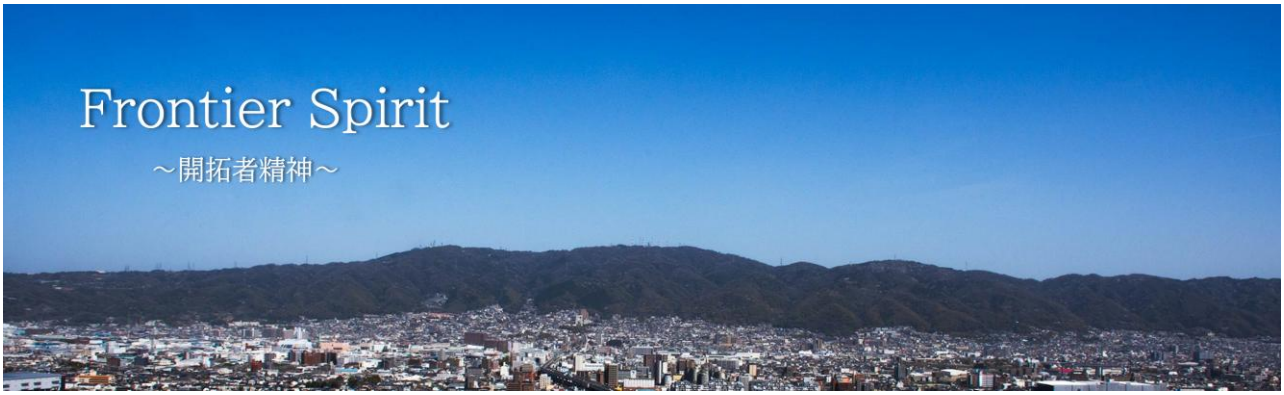


第88期　決算報告書

2024年3月1日～2025年2月28日

ご挨拶

　平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、当社は、この度第88期の累計期間の業績をとりまとめましたので
ここに御報告いたします。
　前年度まで当社では、消費税込みの税込み会計を行ってまいりましたが、税理士事務所からの勧めもあり
88期本年度より、税抜き会計を行うこととなりました。
　そのため88期は、前年との比較が難しいため、88期単独の状況説明とさせて頂きます。
　まず、87期前年度末の棚卸資産（在庫）が税込み金額であることで、88期期首の棚卸資産金額が税抜き金額に
になることもあり、1億2千7百万の在庫金額1億1千5百万程度となることから、1千2百万の簿価としての
損失が出るところから始まりました。
　前年から続く資材高騰と工場経費の大幅な高騰により、大幅な値上げとなり、大口ユーザーの他社への分割
購買やユーザー自身の大幅な減収も相まって、上半期は、6千万近い減収となり、大幅な赤字となりました。
また、450社程度のユーザーのうち、運賃の価格交渉には、ほぼすべてのユーザーが応じて頂いたものの
その他の高騰分については、当社において我慢に我慢を重ね、従来品は、大幅に減少し、最終的には、生産中止に
追い込まれたものも出てまいりました。
　しかしながら前年より販売を始めた新製品や基礎内側の新製品などユーザーにとって大幅なコストアップに
繋がるものでも必要な新製品の採用が秋ごろから大きく増加し始めました。
　最終的には、上半期の大幅な赤字を解消し、ほんの少しですが黒字決算で終えることができました。
また、秋ごろからは、大きくユーザーから値上げ交渉に応じる空気も出てきており、国からも
応じない企業の公表をしたいとの旨の案内が頻繁に届くようになり、やっと普通の業界になりつつあるという
感覚が当社にも訪れてきたと思われます。
　最後に本年度の売上は、比較は、できませんが10億3千8百万、売上総利益は、4億4千万、営業利益は、
1千5百万、経常利益は、2千万、2年前に採択になった事業再構築補助金が本年入金されたため、特別利益
3千9百万を含んで、税引き前当期純利益は、5千9百万、税引き後当期純利益は、4千7百万円となりました。
　今後とも皆様のご支援を頂きながら、フロンティアスピリットで新たなる挑戦を
社員一丸となって努めてまいります。

代表取締役　　竹谷　裕人

577-0056
東大阪市長堂2-3-21　布施駅前ビル
株式会社　竹屋化学研究所

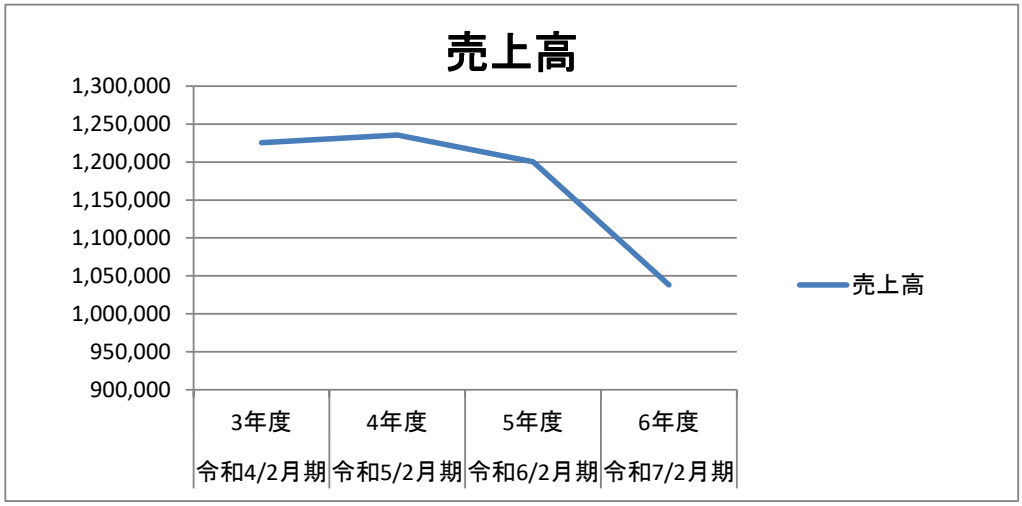
第88期　業績のご報告

財務指標の推移

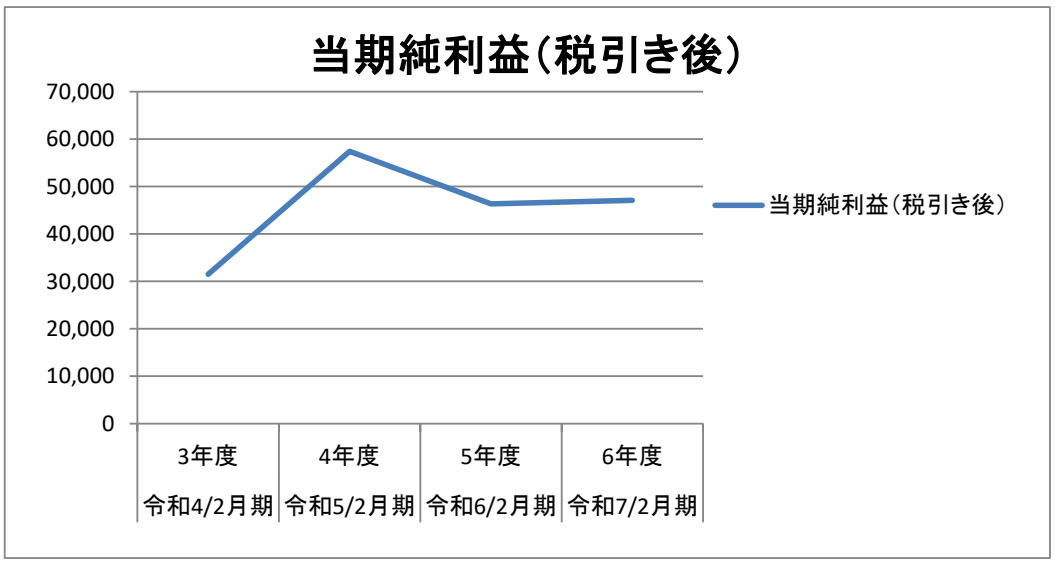
売上高

（単位：千円）

年／2月期	令和4/2月期	令和5/2月期	令和6/2月期	令和7/2月期
年度	3年度	4年度	5年度	6年度
売上高	1,225,321	1,235,617	1,200,348	1,038,142



当期純利益

（単位：千円）

年／2月期	令和4/2月期	令和5/2月期	令和6/2月期	令和7/2月期
年度	3年度	4年度	5年度	6年度
当期純利益（税引き後）	31,486	57,420	46,321	47,086